

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 **マスタープラン**： 3つの挑戦 / 施策番号 5-1 . . . 局・課名： 環境局・環境エネルギー課

事業名	スマートハウス等導入支援事業		事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
				70,014	64,350	41,686
【目的】 住宅における安全・安心と再生可能エネルギーの効率的な利用を図るスマートハウス及びZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及により「クールシティ・堺」の実現をめざす。 【内容】 ■スマートハウス・ZEH普及促進 ・戸建住宅に太陽光発電、蓄電池・V2Hの設備の導入費用の一部を補助。 ・ZEH水準の住宅(国のZEH補助要件を満たす住宅の導入)に対する補助を行う。 【今年度要求のポイント】 ・令和元年度から実施しているZEH補助事業を継続するとともに、各個別システムの補助対象範囲について選択と集中を図る。 ・また、SH補助事業では、住宅用太陽光発電を電力販売契約(PPA)する事業者を補助対象者に加え、FIT制度を前提としない分散型エネルギーの普及を加速させる。なお、補助要件に補助額を住宅所有者に全額還元することを付す。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		R ~ R				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	戸建)補助金※	28,800	18,600	太陽光@60千円×200件等		
	集合住宅)補助金※	3,880	600	蓄電池@60千円×10件		
	太陽熱利用補助金※	320	0			
	ZEH補助金※	30,000	21,000	@300千円×50件+@200千円×30件		
	会計年度任用職員報酬・交通費	1,042	992	半年分		
	セミナー講師等謝礼	74	0			
消耗品等	234	494	消耗品、印刷代、通信運搬費等			
	※補助金は総枠予算。					
	合計	64,350	41,686			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～元年度)】 補助を継続実施するとともに、ZEH補助事業を新設し、ZEHの普及促進を図る。		【2年度】 補助対象を精査し、さらなるZEHの普及促進を図る。		【今後予定(3年度～)】 随時補助制度を見直しながら継続実施		
その他 特記事項						
関連事業：						